

令和4年度「福祉にフィットしない方たちの次の選択肢を考えるワーキング」

1 目的

既存の福祉サービスに合わず行き場がなく安心できる居場所がない障害のある方を対象に、地域での支援の在り方や新たな地域資源について協議し、アイデアを創出する。

障害特性、当事者本人の意向、触法など様々な理由で就労継続B型など福祉的就労が合わず企業就労も難しいような、いわゆる狭間の障害当事者を対象に日中活動等の次の選択肢を検討する。

2 ワーキングにおいて取り組む主な内容について

様々な分野及びワーキングメンバーから意見を集め、福祉に合わない障害当事者の現状と課題を確認する。また、福祉サービスを含め、広く地域の社会資源利用について可能性を検討し、支援の体制を想定する。

3 ワーキンググループメンバー（敬称略）

座長 丸山 晃	（立教大学 コミュニティ福祉研究所 研究員）
池田 怜生	（社会福祉法人 調布市社会福祉協議会 市民活動支援センター）
押澤 厚志	（社会福祉法人 調布市社会福祉協議会 こころの健康支援センター）
和泉 怜実	（社会福祉法人 調布市社会福祉協議会 調布市子ども・若者総合支援事業 ここあ）
矢辺 良子	（調布狛江地区保護司会 理事）
仁田 典子	（NPO法人 調布心身障害児・者親の会）
福田 信介	（社会福祉法人 調布市社会福祉事業団 障害者地域生活・就労支援センターちょうふだぞう）

4 事務局

調布市社会福祉事業団 障害者地域生活・就労支援センター ちょうふだぞう
調布市障害福祉課

5 令和4年度のワーキングにおける成果目標

福祉サービスに合わないなど、望まない障害のある方の現状を把握し、課題確認及び整理を行い、支援の方向性を検討する。